

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	I 理念に基づく運営			
	1. 理念の共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ご利用者様とその御家族様の住み慣れた地域で可能な限りその人がその人らしい生活を継続していけるよう、共に歩みながら日常生活を支援していきます		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	地域との交流を深め昔ながらのお付き合いや人と人とのふれあいを大切にしたホーム運営に力を注いでいます		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	二月に一度の運営推進会議に地域の自治会長民生委員をお招きし、ホームの運営推進を行っています		
	2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩 日光浴の折気軽に声をかけ合い、利用者共々あたたかい言葉を頂戴しています		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老入会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	毎月の自治会会合に出席し、ダンボール回収等に協力しています また地域のバザーに出品見学参加をしています		
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議の席上、地域で介護の手助け等の要望があればお手伝いさせて頂きたいと、毎回表現しております		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を受けて改善する事は全職員で取り組んでいます 生活記録にケアプランの項目番号を記入する事で記録とケアプランが連動するようになりました		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	月々の催し事の説明 入居者の感想をのべ、次回の催し事には家族の方の協力を呼び掛けています		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議に市長村担当者も参加し、サービスの質の向上に取り組んでいます		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	勉強会に参加し、書類にて送付され、開示しています		
11	○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会に参加し、書類にて送付され、開示しています		
	4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	細部に亘り書類説明行い、納得を図っています		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情の投函箱を設け、また日常家族の申し出には即対応し、運営に反映させています		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月一度のかわびら通信にて利用者の暮らしぶりや健康状態の報告、また入居明細書に金銭明細記入し、定期的に報告しています		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見を日常的に、また家族会においても率直に述べて頂き、運営に反映させています		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一度の全体会議並びに毎朝のミーティング等で意見や提案を聞き、反映させています		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	毎月交替で勤務表作りに携わり、勤務の調整に努めています		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	話し合いを重ね、離職を最小限に抑える様に努めています		
	5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修促進に努めています		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者の交流 訪問を通じてサービスの質の向上に取り組んでいます		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	取り組んでいます		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	話し合いを重ね取り組んでいます		
	Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者本人から、困っていること、不安なこと、求めていること等よく聴くようにし、その際腰を低く、耳の側で小さい声で語りかけ、本人よりの確な意思を汲み取るように努めております		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用前見学時、家族から困っていること、不安なこと、求めていること等よく話を聴いて受け止めるよう努め、またトイレは特に心配されるので、本人と家族に念入りに説明し、不安が軽くなるよう心掛けております		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	穏やかな対応で、顔の表情や身体の状態等それとなく観察し、よく話を聴いて、本人と家族が何を必要としているのか見極めて対応するよう努めております		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本入所で不安な場合は短期入所の利用を勧める等、相談を受けながら温かく見守り、雰囲気徐々に馴染めるように工夫しております		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の意思を尊重し、希望を聞きながら必要以上に手を出さないよう心掛け、過ごして来られた生活歴をひも解き、共感の姿勢で関係を築いております	○	本人を介護される一方の立場におかず、声かけや介護方法の工夫により、持っている力を最大限活かせるような関係作りに取り組んでいきたいと思えます
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人の希望や状態を家族と話し合う機会を多く設けて、今後の支援の在り方を一緒に考えていくように心掛けております	○	家族に利用者の状態をこまめに報告し、家族にも出来る限り協力して頂きながら、今後の支援のあり方を一緒に考えていけるような関係作りに取り組んでいきたいと思えます
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の状態を毎月のお便りにて家族に報告し、また各種催し物等の案内状を送付して参加を呼び掛ける等、より良い関係が築いていけるよう支援しております		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族を通してホームや外出時等に馴染みの方との交流を持てるよう支援に努めております		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクレーション等は皆で話し合っ、皆が出来ることを選んで行うようにしています また利用者の話を中立の立場で聴き、話し合いする必要があるれば、場を設けるようにしております		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居したことによる状況の変化に伴う利用者や家族の精神的不安等の相談があればいつでも応じています また亡くなられた方には墓参り、退居された方とは、その後の様子を月1回程度の間隔で交信をしております		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	これまでの生活習慣を継続できるような支援の在り方を、ご本人と相談しながらすすめています 意向の把握が困難な方に対しては、ひとつひとつ確認をしながら検討しています		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族から生活歴や馴染みの暮らし方等をお聞きし、またホームでの暮らしぶりを家族に伝えて意見交換し、自立支援に向けた改善に努めています		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	身体的、心理的に追い込まないような声かけをして、ご本人の意思で行っていただくことを最優先にした支援に努めています		
	2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画を定期的に見直ししながら、医療機関との連携を密に取り、ケアの在り方について一方的にならないような形で、本人 家族 職員間で話し合い、作成しています		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は1つの指針として尊重し、見直し以前に新たな現状の変化があれば、常にケアマネージャーを通して本人 家族 関係者と話し合い、新たな計画を作成しています		
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの気づき等については個別記録に記入し、個人の判断に頼らず毎日のカンファレンスにおいて多くの意見を聞きながら、介護計画の見直しに活かしています		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、馴染み関係を大切にしながら事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人 家族の状況の変化、精神的変化等を本人 家族と共に話し合いながら、個々の希望に対応できるよう、事業所における機能を十分に活かした支援に努めています		
	4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員 ボランティア 消防 保育園等との交流を深め、各種催事等にご参加いただきながら、ご理解 ご協力頂き、より良い支援につながるようにしています		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	本人 家族の要望や相談があれば、その都度対応するよう心掛けています 又 他ケアマネジャーとの情報交換も行いながら支援に役立っています		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人の意向や必要性に応じて、権利が侵害されないようその擁護と、総合的で長期的なケアに向けて、地域包括支援センターと必要に応じて連絡を取り合っています		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人 家族の希望に応じたかかりつけ医を受診出来るような態勢をつくり、かかりつけ医とは密に連携を取り、適切な医療を受けられるように支援しています また職員に対しては学習会、ヒヤリハット事項への指導等、必要な知識や技術を丁寧に教えていただいています		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に関する専門的知識や情報収集に努め、専門医の意見を伺いながら、職員の自己判断にたよることのないよう、又利用者が適切な診断や治療を受けられるよう支援しています		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ホームを訪れる看護師は利用者と同様になっており、職員は利用者の体調の変化や健康状態について看護師と気軽に相談しながら、異常の早期発見に努め、日常の健康管理や医療活用の支援をしています		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時に、利用者の日常の状態や精神的ケアを含めて医療機関に説明し、又定期的に病院に行き、精神面のケアと病状の把握に努め、病院 家族と情報交換をしながら早期退院に向けて支援しています		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人 家族の意向を重視し、早い段階に話し合いの場を重ねて持ち、かかりつけ医の意見を聞きながら、全員で方針を共有し支援しています		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所の「できること・できないこと」をきちんと踏まえ、無理のない状態で利用者の支援が出来るよう、かかりつけ医と常に相談しながら、チームとしての支援の在り方を決めていきます 又今後の変化に備えて医師のアドバイスを受けながら検討・準備を進めています		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人が転居される際、生活環境の変化に伴う精神面のケアも含め、本人 家族の要望等があれば必要に応じ話し合いや情報交換を行い、本人がより良い環境の中で安定した精神生活を送ることが出来るよう努めています		
	IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の尊厳やプライバシーを軽視することなく、常に敬愛の念を持ち、一人ひとりに合わせた言葉かけや対応、個人情報の取り扱いをを心掛けています		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	常に本人の意向を確認 尊重し、利用者が思いや希望を表せるよう、ゆったりとした時間を大切に、和やかな雰囲気の中で相談しながら進めていくような支援をしております		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活のリズムや体調 精神面の安定を最優先とし、日常の過ごし方に関しては利用者の方々と話し合いながら、より良い方向にいくよう支援しています		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	不衛生にならないよう気をつけ、本人と相談しながら適度なおしゃれや身だしなみが出来るよう支援し、理美容院に関しては、金銭状況に応じて本人家族と相談しながら可能な限り希望に添えるよう努めています		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みを理解し強制しないよう、又利用者同士がお互いに支えあいながら和やかに配膳 盛り付け等を出来るよう、職員は声かけや支援を行っています		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲酒 喫煙に関しては、当事業所においては不可ですが、その他の飲み物(牛乳 コーヒー ポカリ等) おやつ等に関しては、家族の差し入れや、近くの店まで職員同行で買い物に行く等一人ひとりに合わせて楽しみの支援をしています		
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	利用者の排泄リズムを把握し、お声かけや介助により失敗やおむつの使用を減らし、気持ちの良い排泄が出来るよう支援しています		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基準として曜日・時間帯設定はありますが、シャワーは随時使用出来る態勢を取り、湯の温度は好みに合わせて調節し、季節のゆず湯や菖蒲湯等を行い入浴を楽しめるよう支援しています また洗身洗髪等出来ることはして頂き自立支援につなげています		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入床 起床時間等、一人ひとりの生活習慣やリズムを大切に、巡回時居室の温度調節や布団の調整等を行い、体調を崩さず、心地良い眠りやリズムへつながるよう努めております		
	(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴 趣味 特技等の把握に努め、利用者の意思を尊重しながら、食事の盛り付けや洗濯物たたみ等を一緒に行い役割を持って頂いたり、個人の楽しみごとや全体でのレクリエーション、散歩 外食 ドライブ等、楽しみや気晴らしの支援をしています		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいない項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は利用者 家族と相談の上、希望や力に応じて行っています 管理が難しい方は家族から小遣いを預かり、本人の希望時に使えるようにしていますが、店での支払い等は本人にして頂き、職員は見守るようにしています	○	本人の意向を大切にしながら、またケアの工夫等により、出来る限り本人がお金を所持し、使えるように支援をしています
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望に応じ戸外への散歩等の支援をしています 独りで出られる方は危険防止の為散歩コースを事前に本人家族と確認し、ホームの連絡先や本人の情報の書かれた外出券を持って頂き、地域住民の方への呼びかけも行っています		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族にも参加を呼び掛けて、マイクロバスで花見 ぶどう狩り 紅葉見物や回転すし等の外食等、季節を目で見て肌で感じられるような機会をつくり、また家族の申し出による外出 外泊は、届けを記入して頂き、交流を支援しています		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	玄関に公衆電話を設置し、かけたい時に電話がかけられるようにし、必要に応じてお手伝いします また手紙のやり取りに関してもポストに同行し投函を見守る等必要な支援をしています		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族、知人、友人等の訪問は、いつでも気軽に行っていただいております		
	(4) 安心と安全を支える支援			
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者の身体的 精神的苦痛となるような行為や身体拘束に当たる対応はしないよう心掛けており、利用者が動きやすく生活しやすいケアをするよう、随時見つめ直しております		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室 日中玄関に鍵をかけることはしていません 利用者は自分の意志で居室を常に自由に出入りする事が出来る状態を保っております		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	定期的な訪室 声かけを行い、状態把握と精神的安定に努めていますが、プライバシーを阻害しないよう、特に訪室の際はノックし、声をかけてから入室します また会話 表情 声音等さりげなく観察しスキンシップを心掛けています		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりの状態に応じて物品の危険性を考慮し、利用者 家族と相談し、納得した上で物品の保管 管理を行うようにしています		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	専門機関からの講習、職員間での情報交換を行い、声かけや見守りを重視して、一人ひとりの状態に応じた事故防止に努めており、誤薬防止に関しては2重3重の確認体制をとっています		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変や事故発生時はかかりつけ医へ速やかに連絡を取り指示を仰げる体制を整えています また全職員が応急手当 初期対応の知識 技術を習得出来るよう、講習や話し合い等の取り組みをしています	○	定期的な講習 訓練により、全職員が応急手当や初期対応を適切に行えるよう取り組みを勧めています
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力のもと、地域自治会長にもご参加頂き、定期的に避難・誘導訓練を実施しています また日頃から自治会長・民生委員を通じて、災害時 地域の方たちのご協力をお願いしています		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	起こり得るリスクについての対応策を本人 家族と十分に話し合い、精神的・肉体的苦痛を強いられないよう最大限の配慮をもって、安定した暮らしが維持出来るよう支援しております		
	(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人ひとりの身体的・精神的変化に心を配り、職員間 医療機関と話し合い、指示を仰ぎながら速やかに適切な対応が出来るよう態勢を整えております		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の目的や副作用 用法や用量については医療機関を通じ理解し、職員間で情報の共有をしています 症状の変化があれば速やかに医師に連絡し、指示を仰ぎます		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の原因や影響に関する知識を集め、医療機関等のアドバイスを受けながら、食生活のあり方 生活習慣 運動の取り入れ方等を工夫し、快適な排便のリズムが保たれ、改善されるよう取り組んでいます		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアのあり方 実施の方法などの講習等を通じ、全職員で情報を共有し、毎食後利用者の口腔状態や力に応じて声かけや介助を行っています 義歯の洗浄に関しては出来る範囲で利用者に行き届けるよう支援しています		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量 水分量のチェックを行い、必要な栄養 水分が確保出来るよう支援しています 水分は常時居室に用意して勧め、衛生面から1日1回以上の交換と洗浄を行っています		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	入居者 職員 外部から来られる方に対して、手洗い うがい 消毒の呼び掛けをしています インフルエンザの予防接種は入居者 職員全員が受けています		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板 ふきん 湯のみ等、漂白消毒しチェックノートを付けて徹底しています		
	2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先に花や緑を植えたり、季節の七夕飾り等を行い、また各種行事(敬老会 運動会等)のポスターを外から見えるように掲示する等、親しみやすい工夫をしています		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には誕生日のお祝いの言葉や行事のお知らせを掲示する、季節の花を飾り季節感を出す、外の彩光を取り入れる、癒しの音楽をかける等、居心地よく過ごせるように工夫しています		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂に、ゆっくりくつろいで頂けるよう、ソファを設置しています	○	限られたスペースの中で、独りになれる居場所を確保出来るように、家具の配置などさらに取り組んでいきたいです
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれ使い慣れたタンスや布団等持ってきて頂き、家具の配置も本人 家族と相談して、使いやすく居心地よく過ごせるよう工夫しています	○	本人の状態の変化に合わせて、持っている力を活かせるような配置作りに取り組んでいます

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	空気の入替えを気掛け、トイレ 居室等消臭剤の活用、天気の良い日は布団を干し、エアコンの調節等、利用者の状況に応じてこまめに行っています		
	(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	つまずきそうな段差にはテープで保護する、滑りにくい床材の使用、手すりの取り付け等、安全と自立に向けて工夫しています トイレの入口をアコーディオンカーテンにして、自立で使用しやすくしています		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	行事の予定等は大きく表示し、利用者に何か知らせる時は口頭だけではなく大きな字でメモに書いて渡すようにしています また「便所」「風呂」「くつ」等その場所を大きな字と絵でわかりやすく表示しています		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先のベンチを日光浴やおしゃべりの場として活用しています		

番号	項目	取り組みの成果 (該当する箇所に○印をつける)
v サービスの成果に関する項目		
88	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	《 》①ほぼ全ての利用者の 《 ○ 》②利用者の2/3くらいの 《 》③利用者の1/3くらいの 《 》④ほとんど掴んでいない
90	○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	《 》①毎日ある 《 ○ 》②数日に1回程度ある 《 》③たまにある 《 》④ほとんどない
91	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	《 》①ほぼ全ての利用者が 《 ○ 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
92	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	《 》①ほぼ全ての利用者が 《 ○ 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
93	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	《 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2/3くらいが 《 ○ 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
94	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	《 》①ほぼ全ての利用者が 《 ○ 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない

番号	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
96	○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	《 》①ほぼ全ての利用者が 《 ○ 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
95	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	《 》①ほぼ全ての家族と 《 ○ 》②家族の2/3くらいと 《 》③家族の1/3くらいと 《 》④ほとんどできていない
96	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	《 》①ほぼ毎日のように 《 》②数日に1回程度 《 ○ 》③たまに 《 》④ほとんどない
97	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	《 》①大いに増えている 《 ○ 》②少しずつ増えている 《 》③あまり増えていない 《 》④全くない
98	○職員は、生き活きと働いている	《 》①ほぼ全ての職員が 《 ○ 》②職員の2/3くらいが 《 》③職員の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
99	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	《 》①ほぼ全ての利用者が 《 ○ 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
100	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	《 》①ほぼ全ての家族等が 《 ○ 》②家族等の2/3くらいが 《 》③家族等の1/3くらいが 《 》④ほとんどできていない